

「令和6年度第2回境港市社会教育委員」会議録

【日 時】令和7年2月27日（木）15:00 ～ 16:00

【場 所】保健相談センター研修室

【出席者】足立 光枝、遠藤 恵子、村上 陽生、足立 かおる、
長谷川 伸、増岡 茂、岩佐 美幸、阿部 泰典、下西 三宝
遠藤 緑、花岡 工（敬称略）

【欠席者】山崎 裕浩、植田 伸一、北農 真也、金津 唯可（敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】山本教育長、北野課長、角補佐、木下補佐、嘉賀館長、平松主任

■ 1 あいさつ

今日はみなさまに社会教育全般についてお話ししたいです。

社会教育の大きなかたまりの中に学校教育が包含されています。先般、公民館活動研究集会で7つの公民館で子どもたちをどのようにして地域に密着させるかの取り組みをみて感動しました。学校だけで教育をするという私の中の昔の感覚をみなさんに払拭していただきました。地域の中で子どもたちが生活しているのを実感しました。今日は貴重な時間ですがご意見いただければと思います。

■ 2 報告

○令和6年度社会教育関係事業報告について

令和6年度社会教育関係事業概要について

（事業概要、体育施設、文化施設・図書館、年間行事）

質疑応答

（委員）

2点あります。

1点目ですが、青少年意見発表会で県の入選（青年の主張）が出ていると思うが、発表できないでしょうか。

（事務局）

三中の生徒が青年の主張で入賞されたと聞いています。学校のほうに聞いて検討してみます。

（委員）

文化ホールが改修されてきれいになりました。壊した回廊の下に駐車場と原っぱができていますがあのままだと使い物にならないと思いますが何か活用予定はありますか。

（事務局）

あのままにします。イベントスペースとして有料でスペースを貸し出しています。もともとあったイベントスペースを広げています。

（委員）

ここを使ってイベントしたことを市から広報していますか。

（委員）指定管理者の文化振興財団が入っており、そこが広報しています。

（事務局）文化ホールの活用方法を協議しています。マルシェ・フリーマーケットなど活用方法について指定管理者と協議しています。みなとテラスの弓ヶ浜広場でやっているようなイベ

ントをやっているのではという声もありました。一回イベントでキッチンカーを呼んでみたこともありました。活用の広報も指定管理者と話し合っって一緒にやっていきます。改修後はベンチを置いて、開放的になりました。またイベントができるよう遮熱塗装をして夏でも温度が下がるようにしました。来年度には竜ヶ山野球場には屋根付きでスケートボードができる場所ができます。市のそれぞれの施設でいろんな役割があります。今言われたことは大切なことなので広報をしていきたいです。

(委員)

その施設をどのくらいの人が使われたか、使用料などが気になります。

GSが708万円の予算は少ないのではと思います。市も予算削減を努力していると思いますしどこか削るべきだと思います。受益者負担金を上げるべきだと思います。益田市は7000万予算をとっており、同じようにすべきとは言いませんが。こどもたちが少なくなってもっと手をかけないといけないと思います。誰が使ってどのくらい収益があったのかなど数字的なところを知りたいです。自分もナイターで野球場を使用しておりこんなにかかるのかと思ったところで

(事務局)

まだこの第2回の会の時には年度が閉まってないので次回第1回のときに予算とあわせて実績を示すようにします。

(委員)

最近近くの本屋が少なくなっています。地域の本屋さんをめぐるイベントに出て図書館の重要性が高くなっていると感じています。本屋と図書館では置いている本が違います。選書も違うのでより図書館の役割が大きくなっていると思います。

(事務局)

図書館としては色んな本を揃えるようにしています。職員で予算の範囲内で選書しています。リクエストがあり、他館から取り寄せもしています。県立図書館から取り寄せもしています。雑誌も最新号は貸出できないがバックナンバーもあるし、リクエストもあります。雑誌に関して19事業所63誌のスポンサーからご支援してもらってます。

(教育長)

市民図書館に登録していれば県立図書館のweb本を見れるようになっていますので周知しないといけないですね。

(事務局)

ある研修会で聞いた話ですが本屋さんは売れる本を置き、図書館は読んでほしい本を置いているそうです。教育施設であるので社会教育を考える上で比較になると感じました。

■ 3 その他

(事務局) 今日お配りした「西部の社会教育」の冊子に米子市の記事で社会教育委員同士でもっと話をしたいという記述があった。社会教育委員の会議は年2回しかないです。次年度以降は委員さん同士でもっと情報交換する場を設けたいと考えております。

(委員)

二中校区の学校運営協議会では一堂に会する機会がないです。

ラインの立ち上げで情報共有すれば、時間もかからないし、発信もできます。市役所の中でラインはどうかと思うが安くできると思います。

(事務局)

SNS の活用を考えるということですね。

(委員)

一堂に会するのは難しいと思いますね、検討していただきたいです。

(委員)

SNS でもよいが、コロナ以降特に LINE だとコミュニケーションが難しいと感じている。

一回会って話すとよくわかると感じます。実際に行って体験すると違った雰囲気を感じ、社会教育は現場感が大事だと思います。実際に会うのが大事で、うまく SNS の活用することも大事だと思います。

(教育長)

新聞を月に 1 回、朝新聞を全部の学校でやっています。家で新聞をとっている人が随分減っています。みんなで今日の 1 面に載っていることを語りあいます。地域学校協働本部運営委員会で出た話ですが LINE だと承認したり、排除してりができます。マチコミだと限定の人に情報が早く流れます。地域学校と CS がグループとして入っていてマチコミを作ろうかという話がでている。社会教育委員もそのグループに入ってもらえるのはどうか。LINE はトラブルが起きているらしいので。

(委員)

公民館長は LINE で情報共有しています。業務に関係あることはメールでやっています。

(事務局)

社会教育はライフラインの一つであるという方もいます。

境港市の社会教育をよりよくするためのツールを検討していきたいと思います。

(事務局) 以上で議題は終了しましたがその他全体について何かご意見ありまででしょうか。

(委員)

今ラインの話は出ましたが、今までは自治会の連絡を委員に紙で配布していたが、連絡するだけなら LINE にしました。14・15 人が自治会のラインに入っています。情報発信ができて非常にいいシステムだと思った。何回か顔をみたうえで LINE の活用は有効だと思うので検討いただきたいです。

(委員)

中国大会の研修会にバスで行きました。みなさんとバスにいればみなさんと顔みしりになれます。角先生にのせていただきました。よその会の話を聞くのもよいです。社会教育と CS が同じようなことをやっています。同じような会話をするところがありました。1 人きりよりみんなで行きたいと思っています。

(委員)

県に理事会というのがあります。平日は仕事があるので出れないです。何回に 1 回かは土日にやるのはどうかという意見も出ています。なかなか平日仕事を休んででるわけにいかないです。

■閉会

(事務局) 以上をもちまして、第 2 回社会教育委員会議を閉会いたします。